

# 街路樹

## 体育科の授業改善の視点と実践例紹介



## 無気力な子どもにどう向き合うか ～教育相談部より～

福島県教育委員会が独自に開発した「運動身体づくりプログラム」は、小学校の体育授業の始めに実施されています。スキップやサイドステップなど、平成26年改訂版には屋内11種目、屋外6種目のプログラムが具体的に示されました。最終種目に組み込まれた投運動の能力については、課題と捉えている学校が多く見られます。そこで今回は、投運動の段階的な指導例をご紹介します。

### 1 まず正しいフォームを作りましょう

(1) 足: 軸足つま先を投方向に対して横に向け、反対足のつま先は投方向に向けます。



まずは「足を固定して投げる」…フォームを作ります。

→次に「踏み出し足だけを上げ、踏み込んで投げる」

→そして「ワンステップを踏んで投げる」へ!

(2) 腕: 大きく広げて構え、肘を高くして大きく振ります。

(3) 体重移動: 軸足に体重を乗せて構え、腕を振り出すタイミングで踏み出し足へ体重移動をします。これができるようになってくるとより遠くへ投げられるようになってきます。

### 2 投げる場を想定して設定しましょう

前の種目(クロスステップ)が終わったら、投運動隊形を作るように指示しておきます。例えば、2列がお互い背中合わせで並んで投げると、2列分が一度に投げられます。

### 3 「何を投げるか」にも考えを巡らせましょう

(1) タオルの端を結び、結び目を握って投げる【推奨】

(2) ハンカチや帽子でシャドーピッチング…一斉にできます。

(他に「紙飛行機を上空に飛ばす」「紙鉄砲を用いる」など)

プログラムは内容を削らず、端折らず、まずは実践を確実に積み重ねていきましょう。上手に投げられるようになった子どもが、遠くに投げる、狙った所に投げる、速く投げるなどの喜びを味わえるようになることを強く願っています。

いわき市総合教育センターには、「子ども健康教育相談(面接)」と「すこやか教育相談(電話)」の2つの相談窓口があります。「子ども健康教育相談」は、まず保護者の方が相談予約をとります。面接当日は、相談員2名が保護者と子どもそれぞれの面接を行い、悩みや困り事を丁寧に聴き取ります。必要があれば、発達心理検査や医師による専門的教育相談、臨床心理士によるカウンセリングに繋ぐこともあります。「すこやか教育相談」は、土日や休日も含め電話相談ができます。

相談内容は「学習面の遅れ」「学校生活への不適応」「人間関係のつまずき」等、多岐にわたります。中には「登校渋りや不登校」に至ってしまうケースも多く見られます。また、子どもの「無気力」による相談も増えてきています。相談に来る保護者の中には、子どもにどう関わってよいかわからず、どうしてもできないことに対してダメ出しをしてしまうケースが多くみられます。それにより子ども自身が劣等感を抱き、「無気力」に繋がっているケースもあるように感じます。しかし、子どものよい面に視点を変えて話を進めると、小さなことでもよい面が数多くあることがわかります。子どもにはどんな小さなことでもよいので得意なことを見つけて伸ばし自信をもたせることで少しでも自己肯定感を高めることが大切だと思います。そして、小さな目標をもち努力させていくことが、将来の自己実現に繋がっていくのではないかと…このようなことを相談活動を通して保護者(或いは子ども)と一緒に考えているところです。

「無気力」な子どもに対する学校の教育相談も同じではないかと思えます。即効性がない場合も多くあります。子どもの心に寄り添い、地道に、そして諦めず粘り強く関わっていくことが何よりも近道のように感じます。



## 教育研究発表会より

令和6年1月19日(金)、総合教育センターや文化センター、体験型経済教育施設(エリム)を会場に、教育研究発表会が行われました。「ともに学ぶ～いわきの未来 子どもたちのために～」をテーマに、第1部分科会では、調査研究委員会の各部会で、それぞれの重点課題を基に、2年間取り組んできた授業実践や事例研究についての発表を行いました。

第2部全体会では、早稲田大学教育・総合科学学術院の河村茂雄教授に『「学級集団を作る」～子どもの非認知能力を育成する教師のソーシャルスキル～』と題して、これからの社会で求められる資質・能力について、ご講演いただきました。特に非認知能力の自律性と協働性を育成させるため、自己選択できる場や友達と互いに助け合いながら温和的に進めていく場を設定するなど、どのように学級集団をつくっていくかについて、Q-Uのデータを基に詳しくご説明いただきました。その中で「子どもたちが、わくわく感をもって授業や学級活動に取り組めるよう、教師もわくわく感をもって取り組んでいく。」という話がありました。知的好奇心を刺激するような動機付けや仲間と一緒に楽しむ体験ができる活動を通して、「わくわく感」もてる学級集団づくりをみんなで目指していきましょう。



### 研修動画の紹介

令和5年度調査研究委員会 算数・数学科と理科の研修動画をアップロードしました!

算数・数学科は、小学5年の「比べ方を考えよう(1)」と中学3年の「相似な図形」、理科は、

小学6年の「てこのはたらき」です。授業のポイント(視点)を動画で確認できるように編集しました。ぜひ、ご活用ください。資料の保存先や動画の視聴方法については、「街路樹175号」をご参照ください。